

はくば 白馬

議会だより

126号



ここまで同点!さあ、どっちが勝つか…
心ひとつに
わっしょい!わっしょい!



■ 村政を問う 一般質問 …………… 10

- ・ 支援ルームの自由利用日の拡充を …………… 11
- ・ 世界水準のまちづくりビジョンとは …………… 12
- ・ 道路や河川の草刈りは …………… 13
- ・ 新たな副村長の選任時期は …………… 14
- ・ 村長2期目の重要課題は …………… 15
- ・ 給食費無償化が全国で拡大しているが …………… 16
- ・ 外国籍所有の宿泊施設の軒数は …………… 17
- ・ 選挙戦で発言にブレがあったのでは …………… 18
- ・ 観光地経営計画は実行段階にあるのか …………… 19

■ 決算認定

厳しい財政運営が続く!

村民生活に真に必要な事業の見極めを …… 2

■ 研修会

公立高校を核に、地域を支える人材を育てる

歴史からひも解く、砂防事業と私たちの生活

全国唯一の「肩関節治療専門機関」で研修 …………… 20

■ 新議員・新委員長紹介 …………… 21

■ 夢・私たちに。「わたしのひとこと」 …………… 22



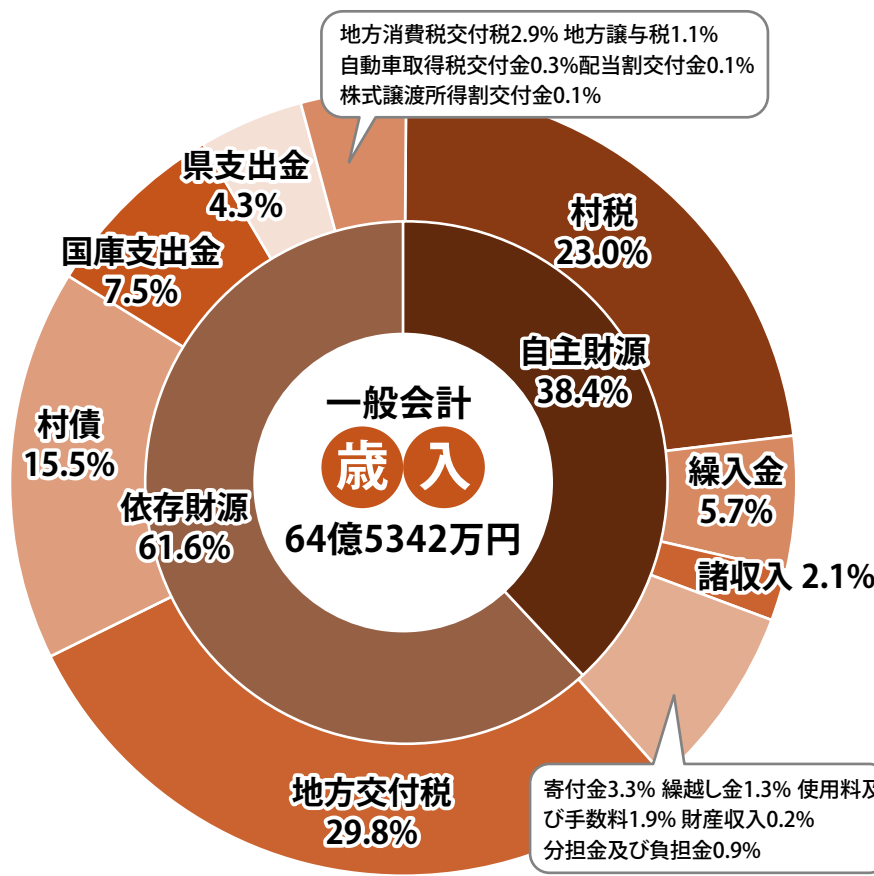
事業の見極めを

歳入
17.4%減

村税は14億8310万3千円で、前年度比116万2千円の減。普通交付税は15億9170万3千円で2751万円の減。

特別交付税は3億2995万円で、地方創生交付金事業などにより1億1864万8千円の増額となったものの、国・県支出金が減少したため歳入総額は前年度より17.4%減少しました。

**第3回
定例会**
9/5~9/25



9月5日から11日までの5日間にわたり、認定第1号から認定第6号の決算認定案件6件及び決算に付随する議案第54号の1件を決算特別委員会で集中的に審査した結果、全て認定しました。

議案では特別職の職員(村長・副村長・教育長)の給与に関する条例の改正、嘱託職員の勤務条件の条例の改正などが原案のとおり可決されました。

一般質問は9議員が行い、さまざまな角度から村の姿勢を質しました。

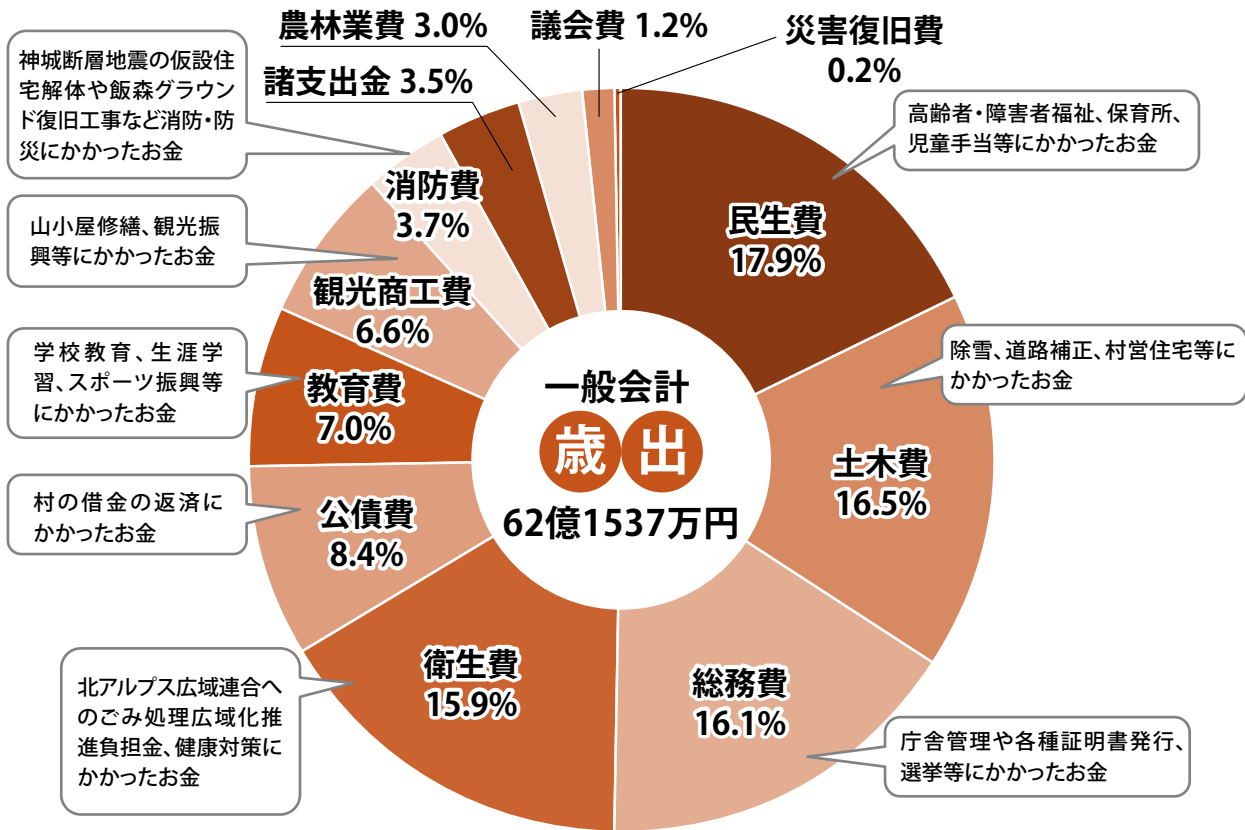
特別会計・事業会計の決算額

会計名	歳入	歳出	差額	決算の結果
国民健康保険特別会計	13億9796万円	13億5492万円	4302万円	全員賛成
後期高齢者医療特別会計	8245万円	8223万円	22万円	全員賛成
下水道事業特別会計	7億4042万円	7億3690万円	352万円	全員賛成
農業集落排水事業特別会計	341万円	340万円	1万円	全員賛成
水道事業会計	3億2277万円	2億7207万円	5070万円	全員賛成

厳しい財政運営が続く！ 村民生活に真に必要な

歳出
16.6%減

災害復旧費において、神城断層地震復旧工事終了に伴い、前年度比11億4516万5千円減。歳出総額は16.6%の減少となりました。
庁舎耐震改修や国体競技会場整備工事が終了した為、総務費で前年度比5億3347万7千円の減となったことが特徴的でした。



厳しい財政運営が続くが、公共施設などの再編や長寿命化、加えて複合施設としての新図書館建設計画もある。早めの議論と中・長期的な計画づくりによる平準化した予算規模による事業推進をお願いしたい。

将来負担率が年々増加しているのは地方債現在高の増加が主要な要因で、両財政指数の動向には常に注意する必要がある。貴重な財源の確保と税負担の公平性の観点から、一貫した姿勢のもと関係各課が連携して情報の共有化と徴収業務の更なる強化を図っていただきたい。



早めの議論と
中・長期計画で平準化を…
監査委員の意見

決算審査

決算特別委員会審査報告

決算特別委員会は、5日間にわたり平成29年度決算状況を、各課から説明を受けながら審査しました。紙面の関係ですべてを載せることは出来ませんので、主だった質疑応答を掲載します。

将来負担率が上昇しているが

総務課

問 将来負担率が36.2%となっており、第5次総合計画のKPI(目標数値)は30%に対して上回っているが、将来負担すべき実質的な負債に対して対応できるか。

答 早期健全化基準にはまだまだ余裕はある。総合計画を策定した時点では30%を下回っていた。財政基準の目標値はそれだけではなく、実質負担率や公債費率、財政力指数などあり、財政担当としては総合的に判断しながら事業を進めていく。

問 地域づくり推進事業が22件しか利用されていないが、その理由は。

答 書類作成など事務作業に手間がかかる。区によっては単年度ではなく予算を貯めてまとめて大き

く事業をやりたいなどが主な理由。改善策として集落支援員に事務の補助してもらっている。

課税誤りへの対応は

税務課

問 課税誤りがあった場合、地方税法では5年、村の要綱では更に5年、ついで10年さかのぼって還付しているがその内容は。

答 5年よりさかのぼるのは、事務的に瑕疵があった場合で、今回は住宅用地に対する特例の適用漏れがあり、多くは住民票を村に置いて有るにも関わらず、非住宅ということと税金を高く徴収していたケース。

検診事業の

外注検討は

健康福祉課

問 乳幼児健診や予防接種は村で行っており、業務量が多いという事も聞いているが、外注は検討したか。

答 妊婦検診と乳幼児一般健診は医療機関委託である。村内には小児科専門医がいなかったため村で行っている。集団検診には母親同士が仲良くなるなどのメリットもあるため、外注の試算や検討はしていない。



検診や予報接種だけではなく、様々な子育て支援の教室を開催。写真は保健福祉ふれあいセンターでのもぐもぐ教室(離乳食教育)の様子。村が開催することにより、地元のお母さん同士が知り合いになるメリットもある。

給食生ごみ

たい肥化事業とは

住民課

問 給食生ごみ堆肥化事業の内容は。

答 共同調理場などから給食調理で出た生ごみを堆肥化していく事業であり、業者へ委託して行っている。ゴミを減らすポイントは生ごみであり、将来的には村内に堆肥化施設が必要かもしれない。新共同調理場に業務用生ごみ処理機の設置などを検

討していきたい。

小水力発電の

売電収入は

農政課

問 平川の小水力発電の売電収入は。

答 税込みで約4200万円の収入があった。発電量は120万キロワット。概算だが約4000万円が土地改良区の収入となり、発電機の運用費用に500万円、2000万円が維持管理積立へ、1500万円は建設改良へ積立てしている。積立金については、新聞報道にもあったように余剰資産に該当するところが問題視されたが、現状では合計5000万円ほどの積立金で、問題となるレベルではない。

廃川敷確定事業とは

建設課

問 大楢川の廃川敷確定事業の内容は。

答 山麓区内の大楢川河川整備に伴い、過去に土地買収や用地払い下げがあった。公図に残っている廃川敷の筆については問題視されており、測量し直し、公有地・民有地それぞれの境界確定を行うもの。

決算審査



貴重な村の予算は正しく

ナイトシャトルの

赤字の原因は

観光課

姫川サイクリンググロードの路面改修の進捗状況は。

問 29年度は舗装工事120mのみで、これからも継続して費用も考えながら専門家の意見を取入れ計画的に行っていく。

答 ナイトシャトル元気号は900万円
円の赤字だが予算付けは適正か。

問 インバウンド事業の二次交通を補うかたちで始まった。もと

答 もと運行経費は1人乗車あたり1000円取らないと追いつかない状況にあり、赤字は想定内。外国人の利用だけでなく、日本人にも利用可能なことをPRしていく。

幼稚園就園奨励費が

多くなっているが

教育課

問 幼稚園就園奨励事業は前年度と比較して多くなっているがその理由は。

答 幼稚園の保育料の減免に対して、所得に応じて補助していくもので、前年度より補助枠を広げた

対象人数が増え増額となった。補助金額の基準は文科省が定めたものを適用。補助枠を増やした理由は、保育園と幼稚園の就園率をほぼ半々にすることや、待機児童をつくらないため。

あそびの教室の

参加者減の理由は

子育て支援課

問 発達支援事業の「あそびの教室」の参加人数が減少した理由は。

答 小集団での遊びや、子供の発達に一般的に周知されていないのが理由と考える。今後は障害を持った保護者だけでなく、子供のことについて色々相談できる場づくりとして行っていき、広く参加できるように努めていきたい。

ウイング21の

雨漏り状況は

生涯学習スポーツ課

問 ウイング21アリーナの現在の雨漏りの状況と修繕状況は。

答 原因を調査したところ、上屋根の平らな部分が雪に押され、へこんだ箇所に雨水がたまり、そこから漏れることが解った。修繕は業者と相談しながら対応する。

問 青鬼地区伝統的建造物群保存事業について、観光施策との整合性や今後の計画は。

答 これまでに何回か地元民と観光客とのトラブルがあったことは聞いている。集落支援員を配して地区と調整している。村も事業導入以来大きな投資をしているので、地元を理解を求めながら観光名所にしていきたい。

※上下水道課については、質疑はありませんでした。

▽委員長を除く委員全員の賛成により原案のとおり認定



残念ながらウイング21は建設以来雨漏りが続いている。抜本的な対策の必要性と、公共事業における設計・監理の大切さが問われる。

特別会計決算は すべて問題なし

○国民健康保険事業勘定特別会計歳

入歳出決算

▽委員長を除く委員全員の賛成により原案のとおり認定

○後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

▽委員長を除く委員全員の賛成により原案のとおり認定

○下水道事業特別会計歳入歳出決算

質疑で不能欠損額の内容についての資料提供を要求し、内容を確認・審査した。

▽委員長を除く委員全員の賛成により原案のとおり認定

○農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

▽委員長を除く委員全員の賛成により原案のとおり認定

○水道事業会計歳入歳出決算

▽委員長を除く委員全員の賛成により原案のとおり認定

○議案第54号 水道事業会計 未処分利益剰余金の処分について

決算により生じた剰余金5177万円あまりの内、3000万円を建設改良積立金に、2000万円を利益積立金にそれぞれ積み立てるもの。

▽委員長を除く委員全員の賛成により原案のとおり認定

総務社会委員会

臨時・嘱託職員を会計年度任用職員へ
雇用制度改革の例規整備等に172万円

●税条例等の一部を改正する条例

平成30年度税制改正に基づき改正。給与所得控除及び公的年金控除額を一律10万円引き下げ、基礎控除の控除額を10万円引き上げるといふもの。また、たばこ税を3年に分けて60円引き上げるのが主なもの。

問 今回の税制改革で試算をしたか。

答 個人住民税は少し減少する程度。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

●一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ7023万4千円を増額し、歳入歳出予算総額を、63億4521万6千円とするもの。

総務課関係

業務委託料172万8千円の増額は、会計年度任用職員の制度化に伴う例規の整備及び制度の構築等。ケーブルテレビ白馬の備品購入費129万6千円の増額、ふるさと納税報償費500万円の増額。移住・交流・集落支援

事業は支援員の減員に伴い288万3千円の減額。

問 当初予算で80万円計上している姉妹都市提携事業の増額理由は。

答 当初は姉妹都市提携35周年記念事業として、桜の時期に行く予定で計上。今回の補正は、河津町の方から60周年記念のふれあい祭りに参加依頼があり計上。

問 現在の臨時、嘱託職員と会計年度任用職員は何が違うのか。

答 今回の法律の改正は、全国的に臨時、嘱託職員が増加している中、正規職員以外の職員の法律の規定が明確化されていないため、国が整理見直しをした。今後は定期昇給、賞与及び雇用試験の仕方等大幅な例規整備が必要のため。

問 業務委託費172万円の内容は。

答 村の非正規職員の雇用状況を委託業者と共有し例規整理を行うため。

住民課関係

後期高齢者医療事業21万円増額は、システム改修に伴うもの。

健康福祉課関係

心身障害者福祉事業17万2千円の増額は、福祉法

改正に伴うシステム改修費。乗合タクシーの先進地視察はどこか。

答 茨城県東海村を予定。車両にタブレットを置き、地図情報を用いてセンターと交信し時間の短縮と効率化を図っている。

問 舗装工事の変更に伴い学校給食センター建設事業324万円増額は

白馬高校支援事業の講師の報酬等に528万9千円の増額。舗装工事の変更などに伴う学校給食センター建設事業に324万8千円の増額。

問 ランチルームとの間は日陰になり、舗装すべきでは。調整が可能であれば、考えていきたい。

答 舗装工事をなぜ細分化して転圧工事までの予算化したのか。

30年度に備品等の購入事業があるため、起債をする時に建設工事が入っていないと備品等の起債に充てられないからあえて舗装工事を後にした。

問 小学校の給食センターの廃品備品は多目的ホールで使用できないか。

答 廃品は業者に処分させる、多目的で使えるかは総務課と相談する。

問 子育て支援課関係

しろうま保育園運営事業151万3千円の増額は、村外保育園の入所に伴う委託料及びエアコンの設置等。幼稚園就園奨励事業108万6千円の増額は、申請園児の増加に伴うもの。

問 幼稚園就園奨励事業の増額は、ほぼすべての園児が対象になっているのか。

答 75名中60名約8割。

問 生涯学習スポーツ課関係

図書館事業98万9千円の増額は、有識者会議の旅費及び図書館玄関の修理等。

問 現在の図書館の後利用は、また、今の図書館の修繕は最小限にすべきでは。

答 現時点では計画がないが、個別計画で考える。

今回の修理はタイルの破損が広がらないよう最小限の修繕。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

●国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ2064万8千円を増額し、歳入歳出予算総額を、11億4764万8千円とするもの。療養給付費負担金等償還金の精算が主なもの。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

●後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ21万円を増額し、歳入歳出予算総額を8951万円とするもの。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

●陳情第6号 私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書

公立高校との学費格差をなくし、公教育の一翼を担う私学振興のために、私立高校への就学支援制度の拡充、経常費補助の増額及び施設、設備費の補助を求める陳情。

▽委員長を除く委員全員の賛成により採択。

産業経済

7月豪雨による災害復旧工事費 2881万円増額を可決

産業経済委員会

●一般会計補正予算(第5号)

農政課関係

ほ場整備等負担金175万円の減額。30年度当初に、県での事業費を8千万円で計上していたが、国から県に対して1千万円減額配分になり、地元負担金175万円を減額。減額分1千万円は土地改良区から繰入れになり、事業費7千万円の12.5%、875万円を新たに土地改良区受益者負担金として計上。

地域用水機能増進事業修繕費、13万1千円の増額。木流川駐車場近くの木道に破損箇所があり、木流川春の観察会で危険がないよう、他の科目より流用し、緊急に対応したものと、ピオトップ近くの木道の改修費。

有害鳥獣被害対策事業は電柵の購入費用21万2千円の増額で、貸し出している。現年発生農地農林施設災害復旧費の945万円の増額は、7月の豪雨による農地災害復旧費用。



7月の豪雨で崩れ落ちた飯田区の農地

問 答

電柵の貸し出した地区は。

佐野・三日市場・飯森地区等。

農地災害の地籍は。

飯田、堀之内、三日市場で各地区3ヶ所。

建設課関係

7月の豪雨による土砂撤去と水路維持に関わる費用に、

190万2千円の増額。

7月の豪雨による災害復旧工事費に2881万円の増額。

花園と日向大右左の2ヶ所。

観光課関係

雪害による頂上宿舎従業員棟の屋根、女子部屋天井及び診療室壁等の修繕工事費に151万円の増額。頂上宿舎従業員棟雪害修繕に

221万4千円と、頂上宿舎本館窓修繕に60万480

円の合計から、八方池山荘の外壁修繕の先送りによる

130万4910円の減額。商工振興費の300万円は信用保証協会保証料補給負担金

が不足しているための増額。事業展開資金、地域活性化資金の大きな申し込みがあった

ことが原因。

外国人に対する補償金か。

日本人に対するもので、外国人を見込んだ宿泊施設への大型投資。今年8月

までに10件で融資額2億80万円、補償額515万3925円の申請があり、増額したもの。

上下水道課関係

平成29年度の下水道事業特別会計繰出金の確定による177万9千円の減額。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。



●下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に28万4千円を追加し、歳入歳出予算総額を9億653万5千円とするもの。

一般会計繰入金確定により177万9千円の減額。

下水道費一般管理費の指定工事店保証還付金8万9千円の増額。下水道工事の指定工事店1社の廃止によるもの。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

●水道事業会計補正予算(第2号)

水道事業収益に収益的収入の営業収益に20万6千円を追加し2億7300万円、二股浄水場発生水汚泥溶室試験検査業務費用で二股浄水場のプール2槽の汚泥を調査するもの。

▽委員長を除く委員全員の賛成により可決。

理事者の給与改正

62号 特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例

理事者の給与改正の内容

村長は

80万円を69万6千円に、

副村長は

65万8千円を59万1千円に、

教育長は

58万7千円を51万9千円にするもので、平成30年9月

1日から適用。

質疑

【質問者】横田孝穂議員

問 今後4年で村長は388万円の増額。副村長、教育長は減額になる。報酬審議委員はこの事実を承知していたか。

答 増える、減るといふような計算をして示してはいない。

問 現在、村長は観光局や社会福祉協議会の代表をやめており、給与の減額をすべきとの声もあるが、どう考えるか。

答 村長 報酬審議会の意見を尊重し、条例改正を行いたい。

修正案・質疑

修正案と理由

加藤亮輔議員

村長の給料月額を平成32年9月30日まで62万6400円に修正する。この改正では特別職の給与は減額改正になっているが、実際は附則で村長職60万円の支給が69万6千円になり、月額では9万6千円の増額になる。

質疑

【質問者】丸山勇太郎議員

問 修正案が附則のみの場合、行政側原案の本則別表の減額改正はしなくてよいのか。

答 本則別表はそのまま良い。別表を認めた上で、附則で2年間10%カットするという案。

問 修正案の採決が先でその後が原案の採決。おかしくなるか。

答 調べた結果、原案と修正動議と一緒に議論するという事で提案した。

問 これは行政執行部が自らやることではないか。

答 それが良いが、早く手を打った方が良いと判断しあえて出した。

原案に賛成

丸山勇太郎議員

特別職の給与は、平成16年度末附則で自主的に減額してきたものを、類似自治体並みに本俸を改め、本則でそれを規定することはまったく適切な措置。

ただし、村長のみ獲得給与総額が、改正前より数百万円上回ることに付いて、同一政権期間内かつ観光財源検討中などの住民感情を考慮し、それに見合った働きをするならば、待望される観光局代表理事への就任。加えて一定期間・一定額を再度附則にて自主的に減額することが正しい措置。

修正案に賛成

横田孝穂議員

今回の修正案では、結果的に村長の今後4年間の報酬並びに退職金の合計は、388万3千円の増額になる計算。今、村の財源も乏しい中、観光財源として新たな負担を村民に求めようと検討の最中。

また、村長は観光局の代表理事や社会福祉協議会の代表などをやめて、副村長にそれを兼務させており村長の業務となっていない。現在は報酬を下げるべきとの意見もあり、村民感情を考慮し10%カットの修正案に賛成。

津滝俊幸議員

津滝俊幸議員

原案について賛成。今までは村長の任期ごとに減額規定を設け行ってきた。今回の条例改正は任期ごとの規定ではなく行うもの。金額については報酬審議会を経て決定されている。また、その根拠についても、当村同規模の人口の町村や公の団体、大北管内の町村とも比較して何の遜色ない額となっており、条例改正は妥当と考えて賛成するもの。

伊藤まゆみ議員

給与改定は大事な議案。追加議案でなく議会初日に上程すべき。村長給与は大幅に増額されるが副村長も教育長も減額。交付税は今後減らされ、厳しい財政状況が続く。観光財源検討委員会は、そういう国の方針を見越した自主財源確保のため。加えて村長公約の新・道の駅や図書館の建設も控える中、首長自らの給与を上げることに対し、住民が納得できる正当な理由がない。よって修正案に賛成。

討論

● 9月定例会 議決結果 ●

件名(要旨)	議決結果
白馬村税条例の一部を改正する条例について(個人村民税の非課税範囲、たばこ税の改正等)	可決 賛成:全員
平成29年度白馬村水道事業会計未処分利益剰余金の処分について(剰余金を建設改良積立金と利益積立金に積み立てる)	
平成30年度白馬村一般会計補正予算(第4号)(ふるさと納税報償、白馬高校支援事業、各課の事業補正及び7月の豪雨災害の農業用施設、土木施設等の補正)	
平成30年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)(療養給付費負担金の国庫金等返納金を補正)	
平成30年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(徴収費の電算機器借上料を補正)	
平成30年度白馬村下水道事業特別会計補正予算(第1号)(浄化センター備品及び指定工事店保証還付金を補正)	
平成30年度白馬村水道事業会計補正予算(第2号)(二股浄水場発生汚泥溶出試験検査業務委託料の補正)	
平成29年度白馬村一般会計歳入歳出決算認定について	承認 賛成:全員
平成29年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	
平成29年度白馬村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
平成29年度白馬村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	
平成29年度白馬村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	
平成29年度白馬村水道事業会計決算認定について	
追加議案(要旨)	
物品の取得について(給食配送車2台購入)	可決 賛成:全員
白馬村嘱託職員の任用及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例について(嘱託職員の報酬月額を増額)	可決 賛成:全員
白馬村特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例について(理事者の給料を減額)	可決 反対:伊藤、横田、加藤
白馬村歴史的な古民家設置条例の一部を改正する条例について(解体による庄屋まるはち土蔵を設置条例から削除)	可決 賛成:全員
教育委員会委員の任命について(西澤みどり氏に再任命)	
発議・発意	
発委:総務社会委員長 私立高校に対する公費助成に関する意見書	採択 賛成:全員

● 陳情等文書 ●

提出者	住所	要旨	付託委員会	審査結果
中信地区私学助成推進協議会 会長 手塚貴雄	松本市	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書	総務社会委員会	採択 賛成:全員

● 8月15日臨時会 議決結果 ●

件名(要旨)	議決結果
平成30年度白馬村一般会計補正予算(第3号)の専決処分報告について(村議会議員補欠選挙事業費の補正専決)	承認 賛成:全員
平成30年度白馬村一般会計補正予算(第4号)(木質バイオマス資源・設備可能性調査委託及び7月豪雨災害復旧の補正)	可決 反対:太谷・丸山・田中麻・横田

一般質問

(紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

安全で活力ある 村づくりをめざして 村政を問う

臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしています。

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

白馬村は1問1答方式で、1人60分の制限時間内であれば、質問回数に制限はありません。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしています。

質問内容

- ・ 支援ルームの自由利用日の拡充を…………… 11
- ・ 世界水準のまちづくりビジョンとは…………… 12
- ・ 道路や河川の草刈りは…………… 13
- ・ 新たな副村長の選任時期は…………… 14
- ・ 村長2期目の重要課題は…………… 15
- ・ 給食費無償化が全国で拡大しているが… 16
- ・ 外国籍所有の宿泊施設の軒数は…………… 17
- ・ 選挙戦で発言にブレがあったのでは…………… 18
- ・ 観光地経営計画は実行段階にあるのか… 19

フォトニュース



新しいグラウンドで、声高らかに選手宣誓！

スポーツ振興くじの助成を受けて無事完成した南部グラウンドで、10月8日(体育の日)に第20回ソフトボール選手権大会を開催。女性参加者3名を含む6チームが参加し、熱戦を繰り広げた。

問 支援ルームの自由利用日の拡充を
答 現場と調整して実行していきたい



田中麻乃 議員

【地域の実情に応じた子育て支援】

問 子育て支援ルームは、屋内で遊べる施設が少ない本村において貴重な遊びの場となっている。更に利用しやすくするために飲食可能な部屋の創設を求める声があるが、村の考えは。

答 子どもの生活リズムを重視して、お昼は一旦家に帰りお昼寝してから再度出てきてもらうという案内をしている。

問 子どもは日々全く同じリズムではないので、村の規定に子ども達を合わせるの今の時代には合わないので柔軟な対応が求められる。さらに現在土日などの自由利用ができない

い日の解放についても求める声があるが、村の考えは。

答 自由利用の部屋は保育士が一切顔を出さなくてもいいということであれば、安全管理上や施設のことなどを検討すれば可能ではないかと考えている。現場と調整して、できることならば実行していきたい。

問 放課後児童クラブの預かり時間の拡充について、村外に通勤している保護者や保育園の預かり時間との整合性を考え、せめて開始を8時にしてほしいとの声があるが、村の考えは。

答 近隣の児童クラブの開所時間を見ても朝8時から夕方6時あるいは6時半というところが増えている。

児童クラブについては常時2人の指導員がいなきやいけないといった制約もあるが、人的補助も含めて今後も検討していきたい。

問 自治基本条例の制定の可能性や考えは
答 現時点で条例の制定は考えていない

【多様な民意が反映される村政を目指して】

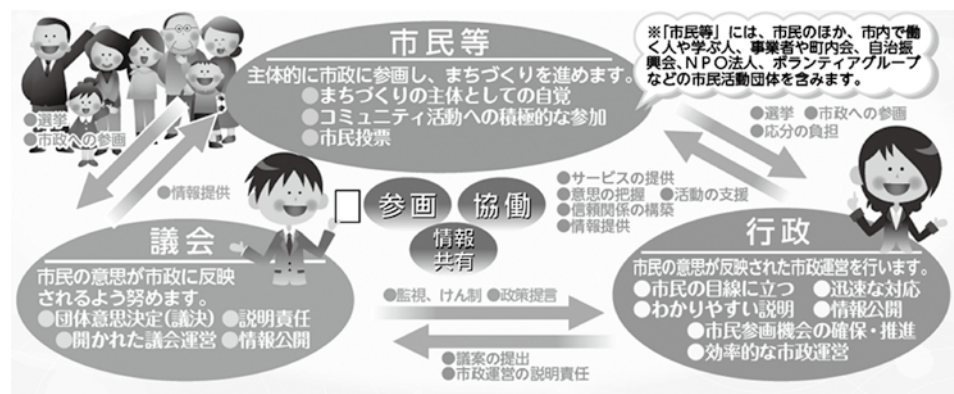
問 村に対する誇りと愛着を村民が抱くためには、「お任せ民主主義」からの脱却、住民自治力の向上が必要不可欠である。住民主体の自治基本条例の制定の可能性や考えは。

答 自治基本条例については、その必要性、他の条例や法令との整合性も検証する必要があり、現時点で条例の制定については考えていない。

問 自治基本条例は、自治の主体を市民と規定し、住民や地域の自治組織が自治体の事業立案に参加する権利や住民投票制度などについて定めるとされている。住民の声を反映させるという意味で、自治基本条例を制定していくべきだと考えるが、なぜ検討する余地もないのか。

答 自治基本条例は自治体における憲法と位置づけている自治体もあり、行政側より住民側の声として意見の盛り上がりがある。その議論をする前段として必要である。

問 外国人居住者で選挙権がないため、政策の議論は差し控えるといった声もあった。約7%の外国人居住者のまちづく



鳴門市HPより。自治基本条例は、市民が主役のまちづくり、自治体の運営全般に関して、その理念や原則、制度を定めたものであり、「まちづくりの憲法」とも呼ばれ、自治体において最高規範性を持つ条例です。わかりやすい絵で解説している。

答 外国人代表のHIBA注の会と1年に1回懇談を組んでいきたい。
注HIBA ハクバ・インターナショナル・ビジネス・アソシエーション

問 世界水準のまちづくりビジョンとは

答 立地適正化計画を樹立していきたい



丸山勇太郎 議員

「世界水準にするためのまちづくりの具体的ビジョン」

問 村長が日頃発言する世界水準の滞在型山岳リゾートにするための行政の役割とビジョン、この村の足りないところ、その不備・不足を補うために行政が果たすべき施策は何か。

答 リゾート地と観光地は明確に違う。リゾート地は理想的なライフスタイルを提供できるエリア。心地よさと賑わいをもたらす空間。本村は、建物などの全体的佇まい、耕作放棄地の存在など、世界水準までのハードルは高く、行政の意識も不足している。

世界水準に一気に引き上げ

られないが、取り掛かれるところから取り掛かり、常に世界を意識した施策の継続が大事。様々な意見を聞き賑わいあるまちづくりをしたい。

問 村内のどこをどのように誘導すればいいと考えるか。

答 まちづくりのグラウンドデザインと言える「立地適正化計画」を策定し、誘導区域にまちづくりを進める。

問 駅前からの県道白馬岳線沿いにはアウトドアショップが相次いで進出した。

この沿線とオリンピック道路の一部は、賑やかな国際水準の街並みに誘導して欲しい。そのため「みみずくの森・第4駐車場」での事業に、まちづくりの観点で村が関わる考えは。

答 藤本副村長 アウトドア ストリートの新たな要素の一つとして、みみずくの森に民間主導で商業施設がつけられる。

地方創生交付金は、そのトータルコンセプトに共感して村として支援するもの。それに併せてま

ちづくりを進めたい。

問 環境審議会答申にあった3000㎡未満の開発へのルールづくりは。

答 景観計画策定に合わせて、建築業組合や専門家などから意見を聞き基準は定めたい。

問 新図書館用地はどのように見出すのか

答 基本構想を策定しつつ併せて検討する

「公共施設管理計画の進捗、公有財産の処分と確保」

問 平成29年3月策定の公共施設管理計画の進捗を伺う。教員住宅など老朽化した箱物施設は解体撤去し、跡地を利用又は売却すべきでは。

答 個別施設計画を策定している最中。有利な起債もあり解体撤去していく場合もそれを利用したい。個々指摘の不建物についてはそれぞれ検討している。

問 村にグラウンドデザインがないことは自明な中で、広大な用地を必要とする新図書館複合施設の用地は今後どのように見出すのか。

答 ワークショップ・有識者会議を通じて基本構想を策定する。図書館としての目的を勘案し、その方向性に合うよう場所と用地についても併せて検討する。

問 ワークショップで理想を語らせるほど、それを実現させるための場所は難しくなる。場所を想定させて検討すべきでは。

答 今は意見集約の段階。大掛かりたい。



国際水準に相応しい賑わいのまちづくりを期待する県道白馬岳線沿い 右手側木立の中のグラウンドと森に、公費も投入する民間商業施設が計画される。

問 道路や河川の草刈りは

答 機械を活用した管理へ



津滝俊幸 議員

草刈りについて、高齢化によりどの地区も苦慮していると聞かすが、その対応は。

答 農業用水路は取水施設や水量管理、草刈りや泥上げなど多岐にわたり、河川については、中洲や堤防斜面の草刈りも大変な作業であると理解している。大町建設事務所へ現状の報告と課題、地区からの要望をしっかりと伝えていく。さらに、同事務所において堤防専用の草刈り機と道路用草刈り専用車を導入し、機械による作業を行っていくことが報告された。ご協力いただいている地区の皆さんに感謝している。今後地区と協議しながら負担軽減を検討していく。

【道路や河川及び用水路の草刈り】

問 主要幹線道路の路肩や歩道などの草刈が行き届いておらず、景観上や交通安全上支障があるが、その対応は。

答 村道は村、国道道は県が管理している。村ではシ

ルバー人材センターへの委託や、地区住民にお願いしボランティアで作業を行っている。また、県では予算の制約がある中、年一回程度実施しているが、草刈り作業が追いついていない状況だ。機会あるごとに、より良い道路環境が保てるよう大町建設事務所へお願いしている。

問 区の作業として行っている、河川や農業用水路の

区

答 建設課長良いと思う。

問 村でも草刈り機械を導入したらどうか。

答 有効な手段であると思う。使用頻度も含めながら、財政的負担について検討していく。

有

問 小中学校・庁舎にエアコンの設置を

答 前向きに検討していく

【公共施設の維持管理】

問 使用されていない教員住宅についての対応は。

答 基本的には解体撤去していく。

問 神城多目的集会施設の維持管理は。

答 会議室は使われていないので、コワーキングスペースなど利用促進を考えていく。

問 併設されている農産物加工施設は、みそ加工など充実して利用が図られている。食品安全の機能を維持しながら管理していきたい。

問 庁舎の維持管理は。

答 耐震工事が完了し安全性に問題は無い。経年劣化

した外観は好ましくない状況で、他の公共施設も含め改修を総合的に判断して実施していきたい。

問 庁舎や他の公共施設・集会施設へのエアコンの設置は。

答 庁舎については事務の効率性など考えると必要である。また、集会施設については使用頻度や使用時間帯など調査し、必要の有無を検討していきたい。

問 南北の小学校の老朽化への対策は。

答 少子化に伴い児童が減っている状況を考え、今後10年位の間に学校の統廃合と併せ校舎については検討していく。



姫川堤防の草刈は過酷な作業



人手不足の切り札、機械による草刈作業

問 新たな副村長の選任時期は

答 12月議会で選任したい



松本喜美人 議員

【副村長の選任】

問 後任副村長の選任検討期間はどのくらいか。

答 村長 副村長は、村長を補佐し、庁内業務を総括する重要な役職であり、選任については慎重に行いたい。当面は、藤本副村長の1人体制で臨み、来年度の施策並びに予算査定までには、副村長の選任が必要と考えており、12月議会で選任したい。

問 前副村長が兼任されていた、社会福祉協議会長と観光局代表理事の今後は。

答 村長 両団体ともに村とは別組織であり、村と両団体で協議しつつ、最終的にはそれぞれの組織で決定。社会福祉協議会長は、来年6月の評議員会まで現在の太田文敏氏の任期が

あるので、任期を全うしていただくことを考えている。観光局では、代表理事は来年5月の総会で選任となるが、10月に理事会開催予定であり、理事会の意見を伺いながら相談したい。

問 観光局は、村長自ら代表理事に就任する考えは。

答 村長 観光のプロである民間人材に、組織のトップを担って頂くこともありと考える。

問 森林経営管理法とは

答 所有者が管理不能の場合、村へ委託

【森林経営管理法】

問 森林経営管理法の対応方針は。

答 同法の趣旨は、林業経営の効率化、森林管理の適正化を図る体制整備であり、具体的に森林所有者が管理できない場合は、村が森林管理の委託を受けるほか、林業経営者に再委託し、再委託先が見つからない場合は村管理となる。9月にガイドライン案が示された新しい仕組みで、国の動向を注視し、県の指導の下に村の体制整備を進めたい。

問 森林整備には治山治水の視点と、景観保持が重要では。

答 村長 村内でも土砂崩落等が発生しており、原因の一つに放置された人工林があり、これらの森林整備を実施することにより、災害の危険性が減少し、住民の安心・安全の向上につながる。また景観保持並びに観光資源としても森林整備は重要。森林整備に関する人材育成は。

問 村長 林業経営が成り立たなくて林業への参入は考えづらく、森林管理システムを循環させることが重要。景観や森林の持つ魅力や、鳥獣被害対策を絡めながら、一人でも多くの林業の担い手が出てくることを期待し、県の指導をいただきながら、人材育成と担い手確保に努めた。

育成と担い手確保に努めた。



3ヵ月後に決定する主人を待つ副村長席

問 村長2期目の重要課題は

答 観光振興と子育て支援



田中榮一 議員

【村長2期目の村政課題】

問 村長が考える村政の大きな課題を2つあげると。

答 1点目は、国際山岳リゾートとしての魅力を高めるため、広域観光の推進体制を整えることは不可欠。来年4月に設立予定の三市村DMOでは、海外プロモーションや共通チャトルバスの運行を予定。あわせて、観光局のあり方も局と相談しながら検討していく。

2点目は、人口減少社会にあつては、将来を担う子供や子育て世代に対する支援は最重要課題。今年、子育て世代包括支援センター「おひさま」を開設する等、子育て施策に力を入れているが、引き続き、子育て世代からの要望が多い事項の実現に努めていく。

【再生可能エネルギー政策】

問 自然エネルギーを活用し山岳自然環境を守る村づくりを進めていることは大事なこと。前回の質問で、小水力発電建設に向けて研究入りしたいとの答弁だったが、その後の進捗状況は。

答 現在検討している中では、平川小水力発電所のように、従来から国が導入を推進してきた農業用水を活用した小水力発電所の建設は、実現性が高く、事業費的に見ても、国庫・県費補助事業を活用することにより、非常に有利に建設が可能であると考える。今後も引き続き研究を進めていくが、補助金を受けずに村が単独で事業を行うとなると、関係機関との協議や、技術的な問題と併せて財政面の問題もクリアしていく必要がある。

問 「地域を守る自然エネルギーの活用基本計画」(仮称)を策定する考えは。

答 村では、平成19年に白馬村地域新エネルギービジョンを策定しているため、予定していない。地球温暖化が進行しているため、エネルギー施策については、できることから地道に取り組みたい。

問 高額になった天狗山荘の改修、老朽化した村営頂上宿舎等、今後山小屋経営には多額な費用が掛かる可能性がある。今後の経営方針を示す時期が来ていると思うが。

答 各山小屋は、それぞれ特色を持った山岳拠点であるが、今後、施設改修や、規模の見直しを含めた経営方針の検討を進めていかなければならない時期に来ている、特に近隣に民間経営施設がある頂上宿舎については、その経営規模・形態など「在り方」について関係者と協議していく。

問 小水力発電建設の可能性は

答 実現性が高いので研究していく



来年4月に入学します。
お兄さん、お姉さんよろしくお願ひします。(白馬南小運動会にて)

問 給食費無償化が全国で拡大しているが

答 いろいろ勘案し、対応してまいりたい



加藤亮輔 議員

【村長の4年間の、子育て、社会保障、観光政策】

問 平成28年9月議会で質問した、学校給食費の半額補助の提案について、村長は共同調理場の完成に合わせて検討すると答弁。施設は12月に完成するが、半額補助実施の目途は。

答 実施している県内自治体は若干増えているが、村として給食費への半額補助は考えていない。

問 27年の無償化調査では全額補助をしている所は2市、24町、18村、合計44自治体で、29年の文科省調査では82自治体に拡大。長野県は4自治体。池田町、松川村は共同調理場完成時から1万円補助を実施。村も考えては。

えは。

答 意味は十分わかるが、財政面のこともあり、いろんなことを勘案する中で、対応してまいりたい。

問 子どもの遊び場確保を公約で述べているが、遊具付公園はいつ頃造るのか。

答 平成34年度建設予定の複合施設の中で、子どもの遊び場も併せて確保することができればと考えている。

問 子供のために遊具付公園を作ってほしいと、お母さん方が苦勞して1330筆の署名を提出してから5年になる。村長はこれ以外に1000筆以上の署名付き陳情書を何件受けただか。

答 ごみの焼却場関係の要望書はあったが、それ以外にはそれだけの数の要望書はない。

問 現在、国民健康保険加入者から預かった貯金(財政調整基金)が1億6千万円ある。この貯金を使って保険料を引き下げては。

引き下げては。

答 基金残高を見ると、引き下げも選択肢として考えられるが、今後の収支見込みを試算し、検討することが重要。12月までに方向性を出したい。

問 公共交通に8割の交付税措置は可能か

答 使えるかは不透明なので検討したい

【村長の4年間の地域づくり、庁内活性化】

問 観光客も含めた、白馬村に在る全ての人の足を確保する交通網を整備する考えか。

答 村の公共交通の課題として、①移動制約者以外も利用可能な住民向け交通、②観光客の利便性向上、③通学用交通手段、の3点。この課題に対し、有効な交通体系の構築に向けた方向付けをしたと考えている。

問 公共交通の事業運営に、8割の特別交付税措置があるか。

答 さまざまメニューがあり、特別交付税で8割程度の補助制度を使えるかは不透明。ほかの補助制度も含め検討したい。

問 職員研修と人材交流による役場組織の活性化の

答 人件費は交付税措置があるが、こちらが求める能力に合致する人材に来て頂けるかは不透明。村内外国人の協力も含めて検討したい。

問 職員研修と人材交流による役場組織の活性化の

ために、総務省及び自治体国際化協会が行っている自治体職員協力交流事業を使って、外国人職員を採用しては。

平成30年7月27日
文部科学省

平成29年度の「学校給食費の無償化等の実施状況」及び「完全給食の実施状況」の調査結果について

I. 調査対象
全国の都道府県教育委員会を通じ市区町村教育委員会(1,740自治体)に対し、平成29年度の学校給食費(食材費)の無償化等の実施状況及び完全給食の実施状況を調査した。

II. 調査結果

- ・1,740自治体の回答をとりまとめた。
- ・調査は選択方式と記述方式による。記述方式は自由記述による意識調査である。
- ・記述方式の調査結果は、主な回答内容を整理した。

調査1. 学校給食費の無償化等の実施状況

(1) 無償化等の状況

選択肢	該当自治体数	割合
1 小学校・中学校とも無償化を実施	76	4.4%
2 小学校のみ無償化を実施	4	0.2%
3 中学校のみ無償化を実施	2	0.1%
小計	82	4.7%
4 1~3以外で一部無償化・一部補助を実施	424	24.4%
5 実施していない	1,234	70.9%
合計	1,740	100%

(注1) 小学校には義務教育学校(前期課程)、中学校には義務教育学校(後期課程)及び中等教育学校(前期課程)を含む。全て公立。

(注2) 1~3の「無償化」は完全給食の場合のみを対象とし、補食給食やミルク給食で無償としている場合は4を含む。

文科省：平成29年度の「学校給食費の無償化調査」。一部無償化・一部補助も合計すると506自治体・29.1%で実施。白馬村も続いてほしい！

問 外国籍所有の宿泊施設の軒数は

答 法人、代表者とも外国人の施設は150軒



太谷修助 議員

【外国人対策】

問 村内居住の外国籍の人数と世帯数は。

答 本年9月1日現在の住民基本台帳人口で、世帯数224、人口は256人。

問 外国人の不動産取得数は。

答 固定資産税台帳によると、平成30年度で土地158人、567筆。家屋で109人、250棟。

問 外国人宿泊施設登録数は。

答 8月現在、大町保健所によると、許可申請者が外国人もしくは外国法人で、代表者が外国人の施設は150軒。エリア別では。

問 エリア別では。

問 無許可数の把握は。

答 法令の手続きにのっとっていない違法な業態を放置してはならず、昨年の民泊法が問題の中で、村内の無許可施設の一斉調査を行った。宿泊仲介サイト登録128のうち、営業許可施設117、残り11は確認できず、場所を特定出来た7施設については適正指導し、場所にすらたどり着けない施設もあり、闇民泊の存在を否定出来ない状況。

住宅宿泊事業法の施行に合わせた仲介サイトが正当な許可、届け出が為されていない施設にはサイト登録させない事とし、引き続き疑わしい施設があれば調査指導し、保健所等と連携しながら対応したい。

問 外国籍所有者の区費分担金の徴収は。

答 エコランド区で実施されている区費に準ずる環境整備費を含めて、色々な方法があるとの提案があったので、検討し進めていきたい。

問 ニセコ同様のリゾート分担金制度導入の考えは。

答 藤本副村長 この分担金は税金とは異なり、役場が対象の地元住民から徴収し、負担と受益の直接関係から、例えば地区の環境美化、街頭整備、ゴミ集積場の整備といった課題に限定される。将来的にこれらの課題に対しても、観光財源の使い道として当然有り得る。観光財源検討委員会の中で意見があれば、検討の余地はあると考える。

問 ウェルカムボード設置の検討は

答 既存以外に新設する考えはない

【国際基準に見合う景観整備】

問 村の入り口にお洒落なウェルカムボード設置の検討は。

答 現在、主要幹線道路の出入り口3箇所に、ウェルカムをデザインした看板が設置されており、要望に適したお洒落なものかはわからないが、当面この3箇所以外に設置する考えはない。

問 統一色による導入看板の設置は。

答 景観の観点からも看板のデザインの統一化に努めていく必要があると考えるが、国道・県道を管理する県と連携を取り検討。



インバウンドで外国人旅行者が多く訪れるメインストリート

問 選挙戦で発言にブレがあったのでは

答 ブレたとは思っていません



太田伸子 議員

【選挙の結果について】

問 67.57%と最低を記録した投票率についてどのようにみているか。

答 村長 猛暑であったこと、夏の観光シーズンで観光関連産業の方々が忙しい時期であったこと等もあるかと思いますが、全国的な投票率低下傾向も、大きな背景ではないかと思えます。

問 身近な選挙戦であるにもかかわらず投票率が伸びなかつたのは、両候補ともに選挙戦の発言にこれまでの活動や姿勢からブレたように感じた。村民も同じように感じ選挙の関心が薄れたのでは。

答 村長 私は一貫して宿泊税に関しては、ありきで

はないと申し上げてきています。ブレたとは思っていません。

改革する観光局代表 理事就任の考えは

答 代表理事は
観光局理事会が決めること

【公約について】

問 観光振興について、白馬らしい滞在型山岳リゾート地の創出とは、具体的に何をくりだす構想なのか。

答 村長 明確に示すことは難しいですが、訪れた方に散策するのが楽しく、長くどまりたいと思うような空間を提議できればと思っています。

問 魅力ある観光局への改革とは。

答 村長 地域連携DMOも発足予定であり、その重要な旗振り役としての存在となるような変革を求めていきたいと思えます。

問 観光振興を公約に掲げている以上、観光振興の先頭に立ちトップセールスを行うべきと考える。そのためにも村長自身が観光局の代表理事に就任すべきと考えるか。

答 村長 代表理事は理事会が決めることであり、私としては民間の方が良いと思っています。

問 明日の白馬村を担う人材育成について、また、各課の配置バランスについて村長の所見は。

答 村長 次年度の事務事業等を考慮し、職員の各課の配置バランスを考えて適正に配慮しています。

問 近年、若い職員の退職がみられるが、人材育成や確保についての検討は。

答 村長 本年度から良い人材を確保するための方策としてインターンシップを導入しています。

問 白馬に育った白馬に愛着

のある白馬高校卒業生枠という人材確保の考えは。

答 村長 前向きに検討していきます。

問 5の約束を履行するには、財源確保が重要だが、健全財政維持のための財政規律はどのような考えか。

答 村長 地方債の発行をできる限り抑制し、国・県の動向を注視し国庫補助事業など

を導入することで元利償還金額が普通交付税に算入される有利な起債を活用できるように努めます。歳出面では、新たな観点から総合的な見直しを行い、一層の経費削減を図って健全な財政運営の中で、5つの約束を履行できるように努力していきます。



代表理事の就任は？

問 観光地経営計画は実行段階にあるのか
答 現時点で運営上課題があるのも事実



伊藤まゆみ 議員

【観光計画と財源検討】

問 平成13年作成の「21世紀白馬村観光の飛躍に向けて」の報告書に謳われているビジョン、計画を検証し、「観光地経営計画」に反映されているのか。

答 平成19年に観光局の事業検証を行った際に、一部内容の検証を実施。また、平成27年の観光地経営計画策定の際にも、ワーキンググループの委員に説明し、この報告書を踏まえた計画を策定した。

問 「観光地経営会議」は2年経過したが、その中の課題は。本年度の方針は。

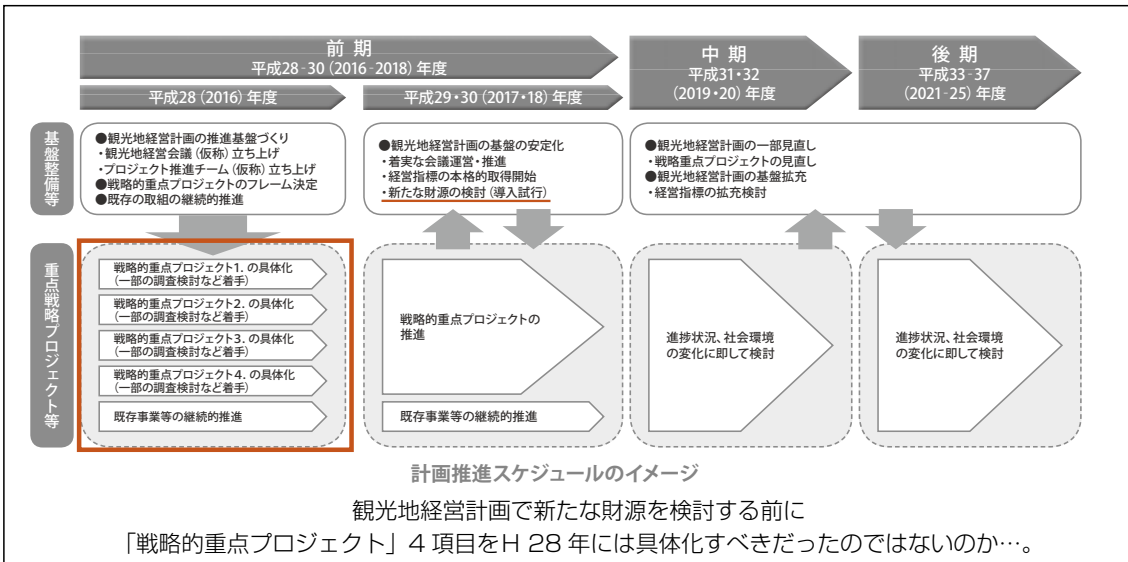
答 正しい指標の取得と各種観光施策の現状の把握が非常に難しい。本年は各事業所に対してどのような事業を行う

ているか調査をし、次回会議で事業検証を行う。

問 観光地経営計画に2400万円もの税金を投入した。この計画の質問を二年前にした際、当時の観光課長は、「計画を実行に移すプロセスまで管理をしながら計画づくりをした点」が今までと違うと答弁。現在、実行に移すプロセスに至っていないのか。

答 運営上課題があるのも事実。行政が一番計画を立ててダメなのは、計画を立てて終わりになってしまう傾向がある点。

運営上課題があるのも事実。行政が一番計画を立ててダメなのは、計画を立てて終わりになってしまう傾向がある点。



まずそれを打破する意味で、計画の進捗状況の管理及びデータ取得に積極的に関わっている。

問 財源検討委員会で今後の予定が変更され、第3回の委員会が延期。答申時期も延期をせざるを得ない状況に思われるが、主たる要因は。

答 7月に宿泊施設の方たちから要望が検討委員会宛てに、また商工会の一部の会員からも村長宛てに意見書が提出された。主な内容は、財源の使途を明確にすること、慎重審議を重ねることなど。住民の理解を得るため、幅広く意見を聞くという手順が必要で、ワーキンググループなどの方法を検討。

問 民間活力を活かした観光局の改革は4年後の現在もなお課題は残っている

答 4年前の公約には、「観光振興では民間活力を活かし、観光局を改革する」とあった

問 民間活力を活かした観光局の改革は4年後の現在もなお課題は残っている

問 過去4年の検証と今後の方針

問 どのような改革がなされ、その結果をどう見ているか。

答 課題解決の委員会を設け5回にわたって検討。提出された結果報告書に従い、分担金の減額を実施したが、運営財源不足や会員拡大など、4年後の現在もなお課題は残っている。しかし全国自治体で日本一の「いいね」数を誇る白馬村のフェイスブックトしている。



全国自治体で日本一の「いいね」数を誇っている観光局のフェイスブック

問 「新・道の駅」の今後は。

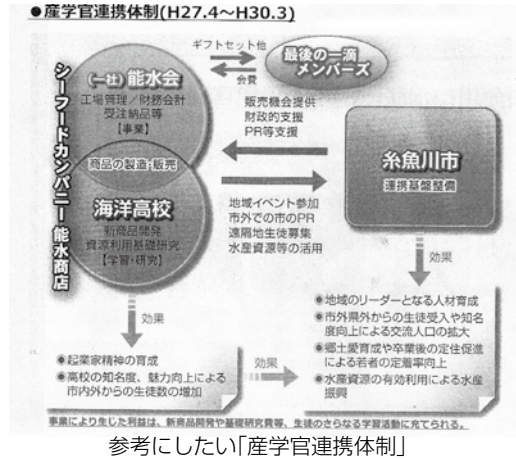
答 協力してもらえ民間業者がいることが前提。その上で事業費や財源の議論が必要で、事業の推進には時間がかかるとの認識。連携事業者との交渉や発掘、財源の検証などできることから取り組む。

研修会

公立高校を核に、地域を支える人材を育てる

糸魚川市産業部農林水産課産学官推進企画幹 講師 久保田 郁夫氏

糸魚川市・小谷村・白馬村
議会議員連絡協議会 8月10日



白馬高校同様、定員割れが続く苦しい時期を経験した新潟県立海洋高等学校。その存在を全国的に発信するきっかけとなったのは「シードカンパニー能水商店」だ。当時の教諭と生徒が中心となり、採卵採精後にはほとんど廃棄されてきたサケを「何とかしよう！」としたことから始まった。

2007年には「もう君サーモン」を、また「最後の一滴」という魚醤も、サケの

生を最後まで大切にしたいとの思いを込めて開発した。

昨年まで同校の校長であった久保田氏は、来年度からの公立高校を核に地域を支えていく、文部科学省の人材育成モデル事業に注目。「財政や人員面で、国の支援に頼らず、自発的な取り組みを維持できるかが問われるだろう。そしてそのカギとなるのが議会だ」と議会への期待を述べていた。

歴史からひも解く、砂防事業と私たちの生活

長野県姫川砂防事務所長 講師 木村 智行氏

白馬・小谷議員研修懇談会 9月27日



「目からウロコ」の砂防の歴史を学ぶ

驚くことに「砂防」の歴史は江戸時代まで遡る。江戸時代後半は新田開発が進み食料生産が増加。それにより1600年から約1200年間に人口は約2.5倍にも増えていた。

肥料や燃料としての草肥を入会地に求めた江戸期の山では、草木がなくなり、表土が流れやすく、土砂の流出で下流の河床が上がるなどの水害が増した。そのため1600年後半には「土砂留奉行」なるものが制度化。

明治期に入ると、経済発展の基盤として船による物資輸送を重視。川から流れ込む土砂で水深が浅くなり、大型船が入れないなど、主要港での堆砂が問題となる。ピーク時には520人もの外国人技術者を、当時の大臣並みの給料で雇い、港湾のための治水に力を入れた。

流出土砂による水害や堆砂防止、浸食抑制が目的であった砂防事業だが、現在は自然災害から住民を守る事業になっている。

全国唯一の「肩関節治療専門機関」で研修

あづみ病院肩関節治療センター技師長 講師 高橋 友明氏

大北市町村議会議員研修会 10月3日



池田町考案の「のびのびゴム体操」で健康長寿へ

池田町で開催された議員研修会に、総勢60名程の各市町村議員と事務局員が参加した。研修内容は大北市町村に関連する内容であったが、池田町は高齢者の健康管理に力を入れており、地域医療連携に積極的に取り組んでいる、あづみ病院の肩関節治療と、池田町地域包括支援センターが考案した「のびのびゴム体操」について、座学だけでなく理学療法士の斉藤恵子さんの指導により、実際に体を動かして理解を深めた。

肩の痛みは年齢を重ねると多くの方が経験するため、参加者の多くは真剣な表情で講師の話に耳を傾けていたが、時には笑いがあふれ出す場面もあった。講師の説明も分かりやすいため、肩に不安を抱えている方は一度あづみ病院へ相談に訪れても良いと感じた。

現場視察・新議員／新委員長紹介

エコに
こだわりました！

北アルプスエコパーク 9月21日



資源物のリサイクル場も広くて充実

8月に開設した北アルプスエコパークは、日量40トンの処理能力。廃油の持ち込みも可能な、資源ごみのストックヤード併設の新しい処理施設だ。発電量が表示される太陽光発電パネルも備え、エコクッキングなどリサイクルを絡めた内容に使い

望。 1日60台までの受け入れをし、広域職員7名、委託16名体制で運営。白馬村のごみに対しては「水切りの徹底を！」との要望。 隣に建設中の共同調理場は、議会でも強く要望した渡り廊下が設置されることになった。工事は順調に進んでいることを確認。

「ホテルのような、
自宅のような」雰囲気で…

リーベおおまち 9月21日



間近のハロウィーンに向けて飾り付け

4月1日に開所の「リーベおおまち」は社会福祉法人北アルプスの風が運営する特別養護老人ホーム。個室42室、多床室(4人部屋)4室、計58床で、東洋紡大町の寮跡地に建設された。

「施設のような施設にしたいくない」との思いから、3つある居住空間は、近代和風、古民家風、洋風と個性を持たせ、飛騨家具を備えた。どの空間も木の香りがしそうな「一見ホテルのような」雰囲気が漂っている。 隣に保育園があり、子どもたちが元気に外で遊ぶ姿を施設内から見ることもできるのも、元気の源になりそうだ。

天井の雨漏れと
廊下の改修工事が終了

白馬中学校 9月11日



トップライトを覆った外観を外から視察

28年度に大規模改修が終了した現場として、雨漏れと廊下のたわみが問題になっていた白馬中学校を視察。雨漏れを防ぐのに3階天井のトップライトを覆ったため、多少暗くなった感がある。歩くとときゅきゅと響張りのようになっていた廊下は

張り替えた。 隣に建設中の共同調理場は、議会でも強く要望した渡り廊下が設置されることになった。工事は順調に進んでいることを確認。



新総務社会委員長

あいさつ



加藤 亮輔
委員長

委員長の議員辞職に伴い選任されました。今、村の観光環境のレベルアップが求められています。「村民が安心して暮らせる世界水準の観光地」とはこの命題に向かって邁進します。行政・委員会情報の速やかな伝達で、みなさんからも声が掛かるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。

新議員

私の思い



太谷 修助
議員

「酒は飲むな。馬は持つな。出来もしないことは言うな」尊敬する政治家が故郷を立つ際、母親からもらった戒めの言葉だ。 「自ら反(かえり)みて縮(なほ)くんば千万人といえども吾往かん」 議員になるという選択肢はなかったが、村の為に動いてみようと思う。

表紙の写真説明



今年は60回の節目を迎えた白馬村村民運動会。参加できる人が減少したため、それまでの分館対抗でなく、村内30地区を紅白に分けた紅白対抗戦になって久しい。 今年是最終種目の綱引きまでは、紅白同点という激しい戦い。最後の力をふりしぼった白組が勝利。村民運動会は地区や世代を越え、普段できない交流ができる貴重な機会だ。多くの人に参加してもらい、この大切な「場」を継続してもらいたい。

ご意見を
お寄せください。
85-0725(直通)
72-7001(ファックス)

むらの未来が見える
9月定例会の傍聴者延べ
本会議 19名、委員会 1名 合計 20名

委員会も傍聴できます

次の定例会は 12月 本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます

夢、私たちに。

わたしのひとこと



「白馬山麓めぐり」に参加しませんか

飯田 尾上 宏

10月2日、白馬村公民館講座「白馬山麓めぐり」第一回が行われました。白馬山麓の里山地帯約70キロの道のりを10回(ゆっくりコース)に分けて、歩いて白馬村一周を目指します。講師は田中欣一先生と、田中先生から講習を受けているガイド希望者。

さのさか駐車場横の十二神社からスタートして、姫川源流、内山、三日市場神明宮、堀之内、嶺方(城下豪農の館跡、分校跡)、幸田、大出、野平、青鬼、塩島、落倉、切久保、八方と巡り、佐野坂三十三番観音を経て青木湖の秋葉岬がゴールです。

今回スタートした第1組は来春からそのまま継続し、第2組、第3組も新たに募って「白馬山麓めぐり」70キロの完歩を目指します。村内の方、村外の方を問わず、来春から本格的に始まる「白馬山麓めぐり」にご参加ください。

お問い合わせは白馬村公民館までどうぞ。



これって おかしくないですか？

新田 高橋 英子

9月27日に行われた、第2回地域公共交通委員会を傍聴しました。議題は、「7月に実施した公共交通に関するアンケート調査」の結果説明と、「アンケート結果から見えてきた問題と課題」についてです。

新たな交通整備が必要は43%。巡回バス(路線・循環)を望むが65%。通園通学の送迎に負担が大きく公共交通手段を望むが75%等々。ところが、課題に対する方向性として、①巡回バス、②通園通学移動手段確保の2点の検討だけは要望があるが、対応は難しいと仕分けされていました。

複数の委員から疑問の声が上がっていましたが、私も「何のために委員会を開催しているの」と首をかきあげ、あと3回の会議も注視していかなければと感じました。



来年は山案内人組合 100周年

みそら野 石田 弘行

白馬山案内人組合は、1919(大正8)年に細野の山案内人25人で「白馬岳登山案内人組合」を設立したことを起源とし、1924(大正13)年には白馬館の松沢貞逸翁が、北城村を取りまとめて60人が加入した「北城登山案内人組合」に発展させ今日に至っています。そして来年2019年には、組合員数104名で創立100周年を迎えます。

私たち山案内人(山岳ガイド)は、先人の足跡をたどりつつ、白馬村の山岳観光の担い手としての使命を将来につなげる節目として、この機会をとらえたいと思います。

山案内人の歴史は、民宿発祥、山岳スキー、スキー場開発の歴史とも一体であり深いかわりがあります。私たちは、ガイド業務に加え、登山道整備、遭難救助、登山相談所の活動を通して白馬村の山岳観光の屋台骨を支える存在であることに責任を感じ、誇りにも思っています。

あ と が き

天候に左右された一年間。冬季は早くからの降雪に恵まれ、久しぶりに長いスキーシーズンであり来客も多かった。

春はいつになく気温が高く桜の開花も早く、何となくだが異常気象の予感。田植えも順調に進み、早い梅雨入りとなったが、史上最短の梅雨明け宣言がされ、水不足が不安視される。

案の定7月から8月にかけて連日の猛暑で、白馬でもエアコンが無いと暮らせないとこの声も聞かれた。西日本の豪雨災害や台風の影響、北海道での地震。秋は連日の降雨で稲刈りが心配された。今後とも異常気象?それともこれが「あたりまえ」になるの?」

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|---------|
| 議長 | 北澤 慎二 郎 |
| 委員長 | 伊藤 まゆみ |
| 副委員長 | 田中 麻乃 |
| 委員 | 丸山 勇太郎 |
| 委員 | 太田 正治 |
| 委員 | 加藤 亮輔 |
| 委員 | 田中 榮一 |
| 委員 | 津滝 俊幸 |

(津滝 俊幸)